10 農作業安全の推進

【令和6年度予算概算要求額 46(44)百万円】

く対策のポイント>

他産業並みの労働安全の実現に向け、農**作業安全に係る普及啓発資料の作成や研修の実施**を支援するとともに、農業機械の安全性能アセスメントの試 験:評価手法を確立します。

く事業目標>

農作業事故による死亡者数の減少

く事業の内容>

1. 持続的生産強化対策事業のうち農作業安全総合対策推進 26(23)百万円

①熱中症対策の啓発資料の作成・普及

農作業における熱中症対策のため、熱中症対策アイテム・MAFFアプリの活用、 声かけ運動等を啓発したパンフレット、事例集を作成し、研修会・セミナーの開催に より効果的な啓発・普及を図ります。

②農業機械の追突事故防止対策の普及

乗用型トラクターの交通事故の発生抑制及び被害軽減のため、追突事故防止 に活用される反射板等に係る実証等を通じて効果的な追突防止対策の普及を 図ります。

③営農類型別の研修資料の作成

農作業安全に係る研修を効果的に行うため、営農類型別に農作業安全のため の普及啓発資料を作成します。

④農作業安全に係る都道府県推進組織等への支援

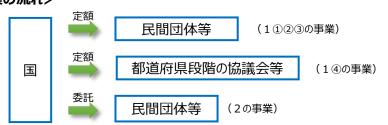
都道府県段階の推進協議会等による研修の実施を支援します。

2. 農業機械の安全性能アセスメント

20(21)百万円

農業機械の安全性能評価に係る試験・評価手法の確立に向けて、新機種におけ る事故発生時の安全性能評価等を行うためのデータを収集し、農業機械の安全性 適合範囲の評価基準を作成します。

<事業の流れ>



く事業イメージ>

- 1. 持続的生産強化対策事業のうち農作業安全総合対策推進
- ①熱中症対策の啓発資料の作成・普及



研修の実施

執中症、 子防

防除・草刈など、農作業毎の特徴を踏まえた 最適な熱中症対策アイテムの 選定目安の提示



②農業機械の追突事故防止対策の普及



夜間における後方からの視認性に係る 実証等を行い、事故防止効果を検証

③営農類型別の研修資料の作成



営農類型別に農作業安全対策を とりまとめ、啓発資料を作成

2. 農業機械の安全性能アセスメント

① 試験手法の確立

<事故発生時の安全性能評価>



墜落抑止用器具





転倒角試験



自動停止装置

データ収集



試験手法 の策定

評価手法の確立



△△性能評価 ××性能評価



収集したデータ

<予防安全性能評価>



評価基準

の策定

「お問い合わせ先〕

農産局技術普及課(03-6744-2111)